厳しく町政を問う

水道施設

旧施設の再使用を

答弁：将来を見据えて調査

池邊 満男 議員

池邊　板付ハイツにある旧南里配水池を使わなくなって2年以上たっている。何年か先きには大山ダム、五ヶ山ダム分の水を一日2、000トン受け入れなければならない。夜間になると水需要が減って現在の総合公園配水池2、000トンだけでは受け入れができないのではと心配されています。旧配水池を将来的にも補修改修して使えるように施設更正してはどうか。

町長　水道企業団から一日4、800トン入水されています。その半分以上を総合公園配水池で受けている。大山、五ヶ山ダムが平成25年と30年ごろから配水されてくる。

今総合公園配水池の管網調査をさせている。調査した結果受入れ施設が足りないという状況になれば、板付ハイツ配水池を再度見直さなければと思うが、現時点では必要あるかどうか調査中です。

▲板付ハイツ配水池

環境教育

太陽光発電の推進を

答弁：導入を検討する

大西　勇 議員

大西　太陽光発電を設置して、学校と地球に優しい発電所に変えよう。

学校における電力消費増大から、自然エネルギーを活用、自力で賄う。

地球温暖化対策、環境教育として、余れば売電する、大震災のときは学校が避難所となる、国の援助を活用し推進するべきだ。

町長　今後いろいろな施設について、さまざまな見通しを見極めた上で導入を検討していく。

個人情報漏えい対策は

答弁：条例に従っている

大西　学校における個人情報漏えい事件が、全国的に多発している。これは先生の扱う私物パソコンが原因。ウイニーを介して感染するウイルス、これは対策ソフトでも撃退できない。この防止対策の徹底を。

学校教育課長　私物パソコンについてはセキュリティー強化の指導しかできない。

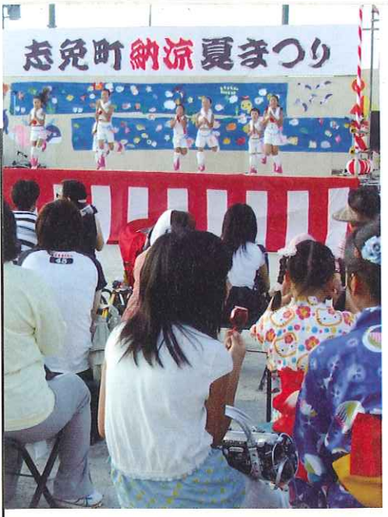
大西　全面的にパソコンの貸与と交換ソフトの管理の徹底をすべきだ。

その他の質問

○不登校・いじめ問題

○環境基本計画

▲太陽光発電



▲協働事業納涼夏まつり

まちづくり

協働への共通理解を

答弁：十分な説明をします

二宮 美津代 議員

二宮　住民と行政の間には、協働に対する意識の乖離があると思う。理解を得る手立は。

町長　行政とともにあらたな公共を創造し、自治の担い手として地域を支えていくとの考え方が台頭してきた。地域をよくさせるためには、住民のお手伝いがいる。何故協働なのかというあたりから十分説明をしなければならないと思う。

町政図書室の設置を

答弁：何とか検討する

二宮　町政情報窓口として、もっと利用がしやすい町政図書室の設置を。

町長　シーメイト情報コーナーを設けているが、場所としては役場庁舎の方が利用しやすいし、住民の期待にも応えやすい。必要性にかんがみ、何とかという思いで検討する。

その他の質問

○NPO・ボランティアセンターの設置

○ボランティアコーディネーターの配置

行財政

世帯数の実態調査は

答弁：徹底して調査を行う

大林 弘明 議員

大林　各町内会の実際の世帯数と帳簿上、電算機に入っている世帯数に誤差はないのか。

組長、町内会長への手当は実際の数を調査して適切に出すべきである。

これも行財政改革の一環である。

総務課長　18年度の世帯数と広報配布世帯数に約700の差がある。

副町長　実際の居住者数（町内会加入・未加入問わず）を基礎にしている。

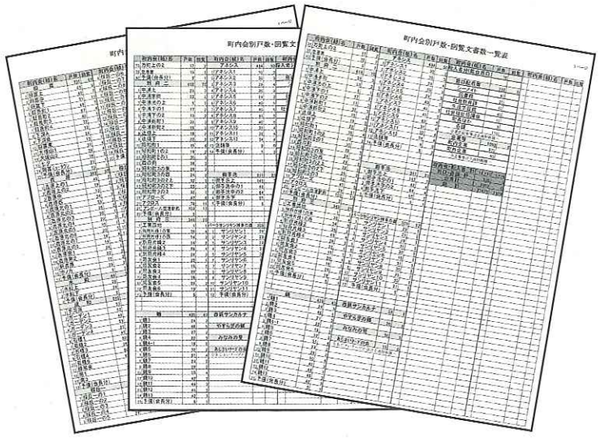
寄付財産について

答弁：全て非課税です

大林　町内会、農区より寄付を受けている財産の件数、それにかかる整備費用と登記の状況は。

地域整備課長　農区より14ヵ所のため池等で、経費は池のみは掌握していない。

町長　登記は農区の代表者個人の名義で登記された場合、将来相続等で問題が生じることが予測される、これらの問題を排除するために便宜上の志免町所有の登記となっている。



▲広報配布数一覧表